

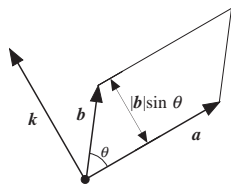
ベクトルの外積 (Outer Product)

1 外積

外積は、ベクトル積とも呼ばれている。ベクトル \mathbf{a} とベクトル \mathbf{b} があり、それらのベクトルのなす角度が θ のとき、外積は次の式で定義される。

$$\mathbf{a} \times \mathbf{b} \equiv |\mathbf{a}||\mathbf{b}| \sin \theta \mathbf{k} \quad (1)$$

なお、一般に外積の演算子は、内積と区別するため、 \times で表現している。



ここで、 \mathbf{k} は向きを示す**単位ベクトル**である。この向きは、ベクトル \mathbf{a} とベクトル \mathbf{b} が作る面に垂直で、ベクトル \mathbf{a} をベクトル \mathbf{b} に向けるための回転の方向に対して、右ねじの指す向きを表している。つまり**法線ベクトル**である。そして外積の大きさは、ベクトル \mathbf{a} とベクトル \mathbf{b} が作る平行四辺形の面積を表している。

内積の時と同様に、外積をベクトルの成分を用いて解く方法を考えてみる。ベクトルの成分は、それぞれ $\mathbf{a} = (a_x, a_y, a_z)$ と $\mathbf{b} = (b_x, b_y, b_z)$ とする（ここでは紙面の都合上、行ベクトルで表現している）。このとき x 軸方向の向きを表す単位ベクトル $\mathbf{e}_x = (1, 0, 0)$ と y 軸方向の向きを表す単位ベクトル $\mathbf{e}_y = (0, 1, 0)$ 、z 軸方向の向きを表す単位ベクトル $\mathbf{e}_z = (0, 0, 1)$ を組み込んでベクトルを表すと、 $\mathbf{a} \times \mathbf{b}$ は以下のように表すことができる。

$$\begin{aligned} \mathbf{a} \times \mathbf{b} &= (a_x \mathbf{e}_x + a_y \mathbf{e}_y + a_z \mathbf{e}_z) \times (b_x \mathbf{e}_x + b_y \mathbf{e}_y + b_z \mathbf{e}_z) \\ &= a_x \mathbf{e}_x \times b_x \mathbf{e}_x + a_x \mathbf{e}_x \times b_y \mathbf{e}_y + a_x \mathbf{e}_x \times b_z \mathbf{e}_z \\ &\quad + a_y \mathbf{e}_y \times b_x \mathbf{e}_x + a_y \mathbf{e}_y \times b_y \mathbf{e}_y + a_y \mathbf{e}_y \times b_z \mathbf{e}_z \\ &\quad + a_z \mathbf{e}_z \times b_x \mathbf{e}_x + a_z \mathbf{e}_z \times b_y \mathbf{e}_y + a_z \mathbf{e}_z \times b_z \mathbf{e}_z \end{aligned} \quad (2)$$

ここで、 $\sin \theta$ の値から、直交する単位ベクトル同士の外積は 1、同じ単位ベクトル同士の外積は 0 となる。

$$\begin{cases} \mathbf{e}_x \times \mathbf{e}_y = \mathbf{e}_z \\ \mathbf{e}_y \times \mathbf{e}_z = \mathbf{e}_x \\ \mathbf{e}_z \times \mathbf{e}_x = \mathbf{e}_y \\ \mathbf{e}_y \times \mathbf{e}_x = -\mathbf{e}_z \\ \mathbf{e}_z \times \mathbf{e}_y = -\mathbf{e}_x \\ \mathbf{e}_x \times \mathbf{e}_z = -\mathbf{e}_y \\ \mathbf{e}_x \times \mathbf{e}_x = \mathbf{e}_y \times \mathbf{e}_y = \mathbf{e}_z \times \mathbf{e}_z = 0 \end{cases} \quad (3)$$

したがって、これらを代入すれば、成分で表した外積の計算は、次のようになる。

$$\begin{aligned}\mathbf{a} \times \mathbf{b} &= a_x b_y \mathbf{e}_z - a_x b_z \mathbf{e}_y - a_y b_x \mathbf{e}_z + a_y b_z \mathbf{e}_x + a_z b_x \mathbf{e}_y - a_z b_y \mathbf{e}_x \\ &= (a_y b_z - a_z b_y) \mathbf{e}_x + (a_z b_x - a_x b_z) \mathbf{e}_y + (a_x b_y - a_y b_x) \mathbf{e}_z\end{aligned}\quad (4)$$

この式を用いると、二つのベクトルで作られる面に垂直なベクトル（法線ベクトル）が、ベクトルの成分を用いて簡単に計算することができる。計算結果を成分で表すと、次式で表すことが出来る。

$$\mathbf{a} \times \mathbf{b} = \begin{pmatrix} a_y b_z - a_z b_y \\ a_z b_x - a_x b_z \\ a_x b_y - a_y b_x \end{pmatrix} \quad (5)$$

このベクトルの大きさが、2つのベクトルで作られる平行四辺形の面積に相当する。

ここで xy 平面におけるベクトルについて、この式を適用する。 $\mathbf{a} = (a_x, a_y)$ と $\mathbf{b} = (b_x, b_y)$ とすると、外積は次式で求められる。

$$\mathbf{a} \times \mathbf{b} = (a_x b_y - a_y b_x) \mathbf{e}_z \quad (6)$$

したがって、2つのベクトルで作られる平行四辺形の面積は、 $(a_x b_y - a_y b_x)$ により極めて簡単に計算できる。